

タンザニア

企業実態調査レポート[2]: Mkito.com ~ 音楽配信 ~

■ タンザニア連合共和国 — 基礎データ —

- 面積: 94万 7,300平方 キロメートル[日本の約2.5倍] (CIA)
- 人口[2013年8月]: 約4,627万7,000人 (2013年10月版 IMF Database)
- 首都: ドドマ[法律上の首都] / 人口208万3,588人 (2012年 国家統計局)
実質的な首都機能はダルエスサラーム / 人口436万4,541人 (2012年 国家統計局)
- 名目GDP[2012年]: 282億4,700万ドル (2013年10月版 IMF Database)
1人当たり名目GDP[2012年]: 628.71ドル (2013年10月版 IMF Database)
- 実質GDP成長率: 7.0*% (2013年10月版 IMF Database) *: 暫定値
- 為替レート[2013年9月中央銀行調整済]: 1ドル ≒ 1,571.7 タンザニア シリング (2012年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「タンザニア概況(2013年12月更新)」



■ 調査実施 : 2014年 7~8月

■ 分野 : 音楽配信・・・1曲単位からの東アフリカ・ポップス(現在はタンザニアのみ)の配信事業を行う。

■ 特徴 : 東アフリカのポップス音楽普及を目的に、企業と組むことで、アーティストには作曲の対価を、ユーザーには無料配信を可能とするビジネスモデルを構築。



企業概要

- 社名 : Mkito.com
- 住所 : P.O. Box 1177 Arusha, Tanzania
- URL : <https://mkito.com>
- 設立年 : 2014年4月
- 従業員数 : 2人
- 主要取扱製品 : 音楽ファイル



経営者のSune Mushendwaさん(左)と妻のEliafura Nilsen(右)さん



事務所の外観



ロゴマーク

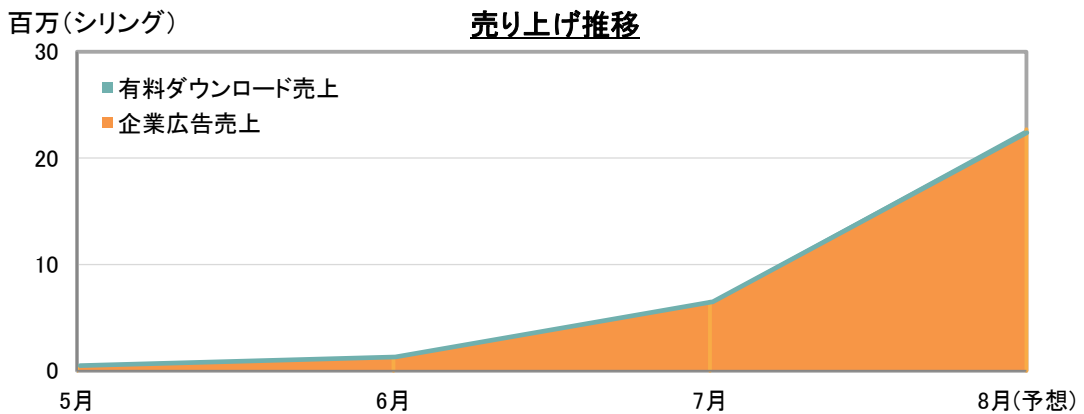
企業形態 (将来的に予想される企業形態)



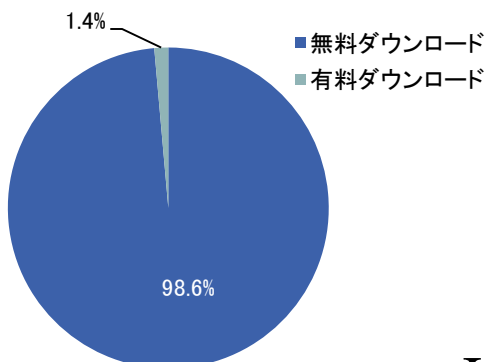
現在、青色の部署はMkito.comのEliさんとSuneさんが分業して担当している。Suneさんは建築家としての仕事があるため、現在、フルタイムで携わっているのはEliさんのみ。(二人はタンザニア人とイギリス人のハーフ。)黄色の部署はAIM Group LTD.に外注している。AIM Group LTD.はMkito.comを起業する際、Mkito.comに投資をした会社。現在、Mkito.comの舵取りをしているEliさん曰く、近い将来、外注をやめ自分たちで独立して活動したく、その際、日本企業もしくは個人からプログラミングやメディア上でのマーケティングの技術、知識指導をしてもらえたらと考えている。

売り上げ推移

売り上げ、アカウント登録者数ともに確実に増加している。アクセス数のうち83%はタンザニア国内の大都市近郊からのもので、85%はスマートフォンを通してのもの。8月の予想に関しては現在、前月をすでに上回っているなど、設立4ヶ月目と真新しい企業だが、音楽好きのタンザニア人のニーズにあった配信方法や宣伝方法により、確実に売り上げを伸ばしている。



無料・有料ダウンロード対比(7月)



新規アカウント作成者数



音楽受信システム

■ 企業とのタイアップで無料配信を可能に

音楽配信の市場では既に“Hulkshare”等の無料音楽ダウンロードサイトが存在している。これは、ターゲット層の人たちは経済的な理由により有料ダウンロードを好まないことがある。Mkito.comは企業と組むことで広告収入を得る方法を確認し、このことにより、アーティストには作曲の対価を支払い、ユーザーには無料で1曲丸ごとダウンロードすることを可能にした。現在ではVodacomとKilimanjaro Beerが広告を提供している。

なお、曲の頭部分のみ切り取るなどの高度な編集技術をもったタンザニア人が多くないこともあり、高音質の無料ファイルが出回ることについて、アーティストたちの間では問題になっていない。アーティストたちは、ターゲット層の経済的な理由や流通の未整備の点から、CDの売り上げがほぼ期待できないため、自らフリーダウンロードのファイルを配信するアーティストもいる。また、自身の知名度を上げるため、イベントや大手企業の広告塔に採用されるべく活動しているアーティストも多い。

こうした背景から、アーティストには対価を、ユーザーには無料でダウンロードができる仕組みを、大手企業に新規広告チャネルを提供する形で可能としたビジネスモデルを構築した。

■ 収益構造

Mkito.comは、下図のとおり、曲の頭に5～7秒ほどの企業の宣伝広告をつけることにより、その企業から広告収入を得て、それを6:4でアーティストおよびMkito.comで分配する仕組みを構築した。

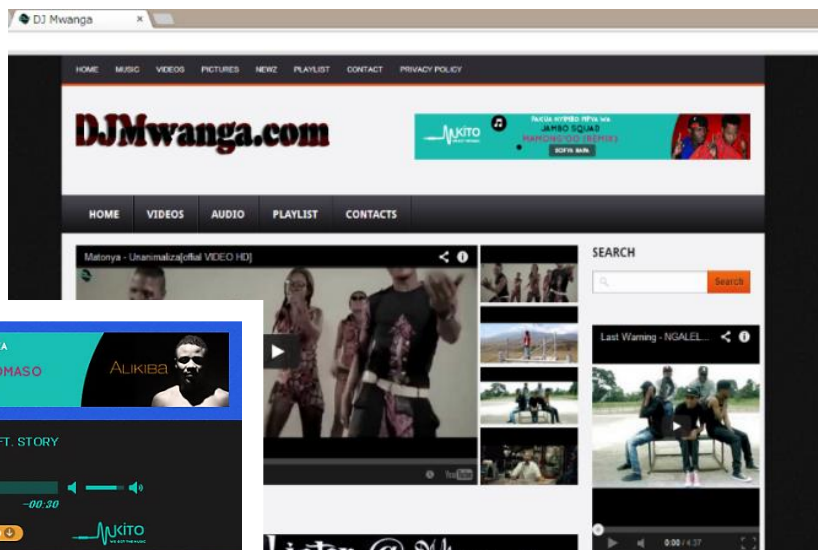
したがって、本ビジネスを通じて、配信会社であるMkito.com、顧客であるユーザー、アーティスト、広告会社の4者間でWin-Win関係が構築されている。



ビジネスの概要 ②

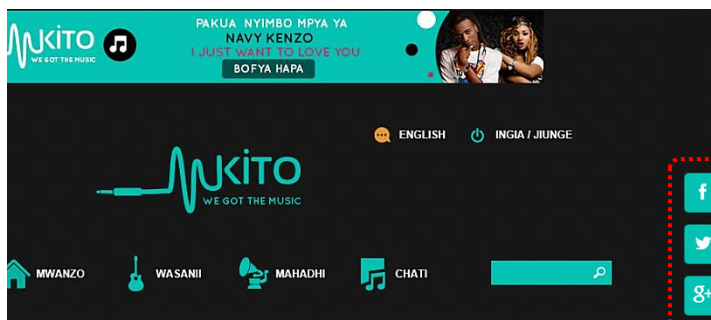
マーケティング手法 ① ブロガーシステム

近年タンザニアで増加傾向にあるブログや海外のブログにMkito.comのリンクを貼ることで、ブログの読者が曲をダウンロードすることを促す手法。ブログから曲がダウンロードされた場合、Mkito.comの利益から、ブロガーに8%の利益がいくシステムになっている。7月10日から導入されたシステムで、8月現在、46のブログがMkito.comと提携している。



マーケティング手法 ② ソーシャルメディア

安価なスマートフォンの利用者が増加していることをふまえ、Facebook、Google Awards、Pin Pointのソーシャルメディアを通して積極的に宣伝活動を行っている。



マーケティング手法 ③ アーティスト自身による宣伝活動

これまでタンザニアのアーティスト達は、自分たちの活動を宣伝する際、プロデューサーと契約するか、もしくは個人で行ってきた。しかし前者の場合、公平な利益がアーティストに渡ることは難しく、後者の場合、作品が世間に知れ渡る機会もなく埋もれていくことがほとんどであった。

一方、Mkito.comと契約したアーティストは自身がラジオやテレビで積極的に宣伝することで、ダウンロード数を稼ぐことができる。契約アーティストは228名にのぼり、開始直後は自分たちで直接登録を呼びかけていたが、最近では知名度があがり、アーティスト自ら登録しに来るといふ。また、Diamond PrutnuzmやVanessa Mdeeなど著名なアーティストと契約し、彼らが宣伝活動をすることはMkito.comの知名度上昇につながった。

今後の展望 ①Vodacom社の着メロとのコラボレーション

携帯電話ユーザーが1,000シリングをVodacom社に支払うことで、ユーザーの携帯電話が鳴っている間、相手が音楽を聴くことができるというシステム。1,000シリングあたり、1曲が携帯電話ユーザーに与えられる。



今後の展望 ②Radio Tanzania Dar Es Salaam (TBC) に残る音源のデジタル化

1970年代、ニエレレ大統領統治下のタンザニアにて唯一のラジオ放送局。現存する建物には、政府や準国営組織のバックアップをうけたバンドたちの演奏が100,000時間以上、現在もデジタル化されることなく眠っている。国際連合教育科学文化機関(UNESCO)がデジタル化に介入してくる話もあり、Mkito.comは現在、デジタル化に一役担えないか、出方をうかがっている状態だという。



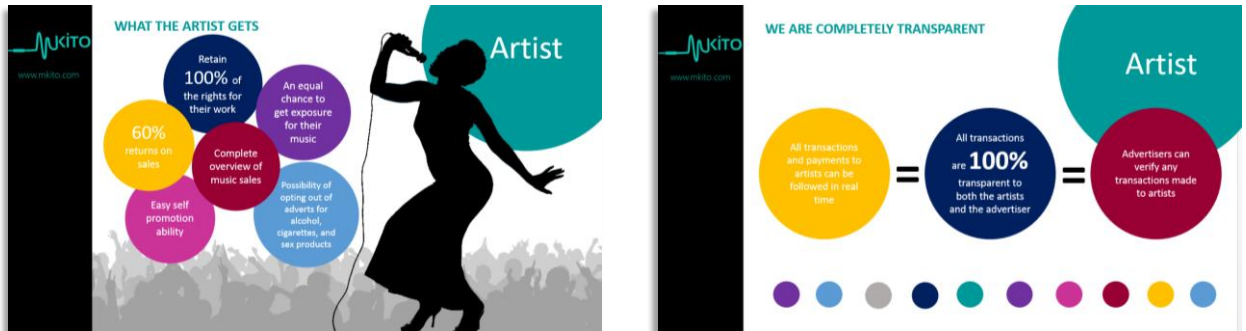
当時の状態で残る音源



TBCの外観

ビジネスの特徴

アーティストが作成した楽曲を提供し、それに見合った報酬を得ることができる場を設けることを第一優先事項においている。例えばアーティストは、1曲ダウンロードごとにその広告収入の60%を得るという点や、自分専用のアカウントを作成すれば、自分の曲がどのくらいダウンロードされているかを自身でチェックすることができる。また、ターゲット層の経済面を考慮し、有料配信による利益獲得に注力することを目的とせず、無料配信を通じていかに宣伝広告をのせる場としての需要を高めていくかに企業としての方向性を定めた点は、Mkito.comのビジネスにおける大きな特徴の一つだといえる。



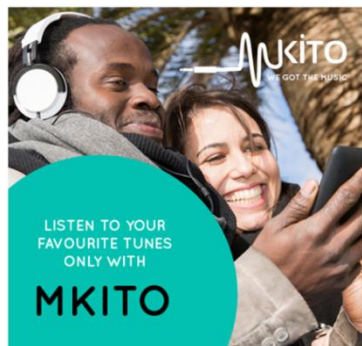
Mkito.comがアーティスト向けに作成したプレゼン資料の一部

訪問後の編集後記

タンザニアでは、インターネットユーザーはこの5年間で10倍近く増えている。その78%はスマートフォンを媒体としている*ことに着目したモバイルマネーを利用し、1曲ずつ音楽を配信するという斬新なアイデア。起業して4ヶ月とまもなく、前例のない企画のため手探り状態とのことだが、音楽好きのタンザニア人のニーズや趣向に応えた配信方法は今後確実にタンザニア、ゆくゆくは東アフリカの音楽配信市場を斡旋していくだろう。また、アクセス数、契約アーティスト数が増えていくなか、アーティストに活動の場を提供し、いい音楽を発信する場を設けるといふ、モットーを貫く姿勢は非常に好感がもてる。今後も伸びていくことが予想されるが、有料ダウンロード数が増やしても少ないのが課題。オーナーのSuneさん曰く、宣伝を乗せる場としての需要を高めていくなかで、有料ダウンロード数を増やしていくことができるか、現在試行錯誤中だという。

*: THE CITIZEN

<http://www.thecitizen.co.tz/Business/Tanzania-s-Internet-users-hit-9m/> より



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。